

こどもの病気対策法¹³⁸

—新型コロナウイルス感染症—

大分大学客員教授 是松聖悟

2019年12月以降、中国湖北省武漢市から新型コロナウイルス感染症の患者が急増し世界に広がっており、心配されていることと思います。

コロナウイルスは以前より日本でも確認されています。医療機関で検査する迅速診断キットはないので馴染みはなかったと思われますが、風邪の一因です。ほとんどのヒトが何度か感染しているはずです。

しかしこれまで種を超えた感染の大流行で世界を震撼させてきました。それは2002-2003年に中国から世界に広がった重症急性呼吸器症候群(SARS)コロナウイルス感染症(コウモリ)のコロナウイルスがヒトに感染したと、2012年にサウジアラビアで発見された2015年には韓国でも流行した中東呼吸器症候群(MERS)感染症(ヒトコブラクダ)のコロナウイルスがヒトに感染した)です。

今回の新型コロナウイルス

感染症がどのようなものか、まだ十分にわかってはいませんが、これまでの情報からおそらく飛沫感染と接触感染で感染するものであろうことが示唆されています。治療薬、ワクチンはおろか、医療機関での検査手段もありません(病院を受診しても診断できません)が、標準的な感染症対策で予防可能であることが示唆されています。

咳、くしゃみで感染するため、これらの症状がある場合はマスクをしてヒトに感染させないようにしてください。自分自身は風邪ですんでも、感染させた家族や他人が肺炎になることもあります。また、予防には手洗い、うがい、アルコール消毒が有効です。ウイルスを保菌しているが无症状のヒトもいます。ウイルスが付着した手で触れた物を介しての接触感染もありえますので、多数が触るスイッチ、ドアノブ、手すりなども消毒することを励行してください。

新型コロナウイルス感染症の5つのポイント

- ・ 治療薬、ワクチン、医療機関での検査手段はない。
- ・ 咳、くしゃみで感染することが示唆されている。
- ・ ウイルスが付着した手で触れた物を介しての接触感染もありえる。
- ・ 手洗い、うがい、アルコール消毒などをすべき。
- ・ 多数が触るスイッチ、ドアノブ、手すりなども消毒することを励行する。

